



節				監督談話			
1	三菱重工長崎SC	H	○ 8 – 1	プレシーズンから取り組んでいるコンセプトは、ピッチ上で表現できていると思います。 ただ、ボール保持や前進の質を向上させることで、他の局面も含めてより優位にゲームを進めることができると感じました。 急に暑くなった気候の中でコンディショニングが難しい状況でしたが、 2試合を戦いきった選手たちを讃えたいです。 試合に出場した選手だけでなく、バックアップメンバーもチームを献身的に支えてくれました。 毎日全員で少しでも成長し、チームを進歩させていきたいです。 三菱重工長崎SCの皆様、NIFS KANOYAの皆様、審判団の皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、ボールパーソンをはじめ運営に関わっていただいたすべての皆様、 ありがとうございました。 現地およびライブ配信で応援していただいたファン・サポーター・スポンサーの皆様、ありがとうございました。今シーズンもよろしくお願いします！			
2	NIFS KANOYA FC	A	○ 4 – 0				
3	F C 博多	H	○ 3 – 0	ホーム開幕戦で 1, 108人の方々にきていただき非常に力になりました。応援していただいたファン・サポーター・スポンサーの皆様、ありがとうございました。 良い立ち上がりから早い時間帯に先制点を奪えました。 その後軽率なミスや前進を焦ってしまったことによってリズムを失う時間もありましたが、 90分通じて継続的にチャンスを作り続けれたと思います。 ただチャンスの数を考えると得点数は物足りなく、ゴール前の判断と技術の精度に課題が残りました。 落ちつて認知をしてチャンスをモノにする力がある選手たちなのでそれを求めていきたいです。 F C 博多の皆様、審判団の皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、ヴェロスクロノスアカデミーはじめ運営に関わっていただいたすべての皆様、ありがとうございました。			
4	日本製鉄大分	A	○ 4 – 0	難しい相手に対して早い時間帯で先制点を奪えることができ優位にゲームを進めることができました。 最終的 0 – 4 というスコアで勝利することができましたが、ロングボールに対する対応や、 90分通じて支配してチャンスを作り続けるために改善すべき部分を見直し成長して いきたいです。 アウェーの地まで応援に駆けつけていただいた、ファン・サポーター・スポンサーの皆様ありがとうございました。またライブ配信で応援していただいた方々もありが うございました。 対戦していただいた日本製鉄大分の皆様、審判団の皆様、大分県サッカー協会の皆様、ならびに運営に携わっていただいた皆様ありがとうございました。			
5	川副クラブ	H	○ 8 – 1	立ち上がりに失点する難しい試合だったのですが、選手たちは冷静にプレーに集中し続け、前半のうちに逆転。その後も得点を重ねることができました。 失点は相手のプレーも素晴らしかったのですが、毎試合無失点にこだわり戦っているので、とても悔しいです。その他の課題も含めて見直し、成長していきます。 対戦していただいた、川副クラブの皆様、審判団の皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、運営に携わっていただいたボランティアスタッフの皆様、ありがとうございました。 そして今回も応援とホーム戦運営サポートに尽力してくださったヴェロスクロノス都農U15の皆様、ありがとうございました。 最後になりましたが、ファン・サポーター・スポンサー、そしてライブ配信を見ていただいた皆様、ありがとうございました！			
6	K M G. F C	A	● 1 – 2	完敗だったと思います。負けることはありますが、負け方が我々の負け方ではなかったです。 90分間相手の土俵でサッカーをして敗れました。そして相手の土俵で戦わしてしまったことは、監督の私の責任です。試合を見直し、自分自身を見直し成長していきます。 KMGホールディングスFCの皆様、審判団の皆様、福岡県サッカー協会の皆様、その他運営に関わっていただいた皆様ありがとうございました。 現地でサポートしていただいたファン、サポーター、スポンサーの皆様、ライブ配信で応援していただいた皆様、ありがとうございました。 悔しい敗戦を必ず成長に繋げていきます。			